

学内での活動

1 教務委員会

年間を通じて、カリキュラムの運用チェックとその改良などに従事した。

2 ATP プロジェクト

「アートを／で考えるプロジェクト」で学生と共にアート批評やアートプロデュースについて研究した。

学外での社会活動（公的）

1 コンソーシアム岐阜公開講座「笑いの世界」

コンソーシアム岐阜における連携活動の一環として一昨年度より展開している公開講座「落語という世界（全三回）」に引き続き、「笑いの世界」と題した公開講座を年間で 15 回行った。

参加者は毎回 50 人ほどで、何件かのマスコミ取材も受けた。

2 ATP（アートを／で考えるプロジェクト）

2012 年 9 月 28 日～11 月 4 日に、大垣市内にて開催された「アートフルタウン大垣 2012」において、IAMAS OS でプロジェクトメンバーの作品展示を行なった。

warai no sekai 2012

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜公開講座 2012 年度

## 「笑い」の世界 ～落語から喜劇まで～

**開催概要**

何をあげるともなく、人間の生活にとって「笑い」は必要不可欠な表現であり、表現であり、また反応であり、コミュニケーションである。「笑う」という身体動作が、生理学的反応として、また脳内では活性化作用として働いている一方で、「笑い」は世界を解放し、社会を共に築く。人間関係を改善する。また「笑」は「笑」の源泉である。「笑い」は笑いと人間の生活に不可欠な存在であり、人間の生活に不可欠な存在である。本講座では、2010年度より行なっていた公開講座「落語という世界」「笑う・喜劇という世界」「笑う・喜劇という世界」の成果と未発表部分をまとめた、新たに整備した「笑い」の歴史を踏襲する。落語についてのさらなる普及と普及に努めます。また、コント、他種のような表現から落語（舞台、映画、文学）までを含めた大規模な「笑いの世界」の歴史をこころから知ることを目的とする。本講座は、2012年度より行なわれる。

- 日程： 2012年4月～2013年3月の不定期開催日（原則3回程度に1回、下記開催スケジュールまで開催ください）
- 時間： 午後6時30分～午後7時40分（開講：午後6時）
- 会場： ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 各拠点（岐阜県岐阜市サカサライトビル）（各拠点の開催会場 別途案内）
- 受講料： 無料
- 定員： 50名（出席者数によっては椅子のみの確保となる場合がございます。ご了承ください）

**講師**

1979年東京生まれ。大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済・経営・政治の三つの視点から見た身体論を構築。専門は組織・人間性、身体性・認知性、組織文化論、組織行動論。専門は組織文化論の分野に所属している。中々学芸人として同じ所業であったのが自慢。主筆に『笑い論の現在』に執筆する『笑』など多数。

講師 小林昌廣

